

## 安全データシート（SDS）

X i u mチタン  
廻縁チタン

整理番号： TITANIUM-SDS-T1 #2

初版： 2020年 6月 5日

改定： 2021年12月25日

アイジー工業株式会社

## 安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

- ◇製品の名称 : X i u mチタン・廻縁チタン
- ◇会社名 : アイジー工業株式会社
- ◇住所 : 山形県東根市蟹沢上縄目1816-12
- ◇担当部門 : 寒河江工場 品質管理チーム
- ◇電話番号 : 0237-86-9000
- ◇F A X 番号 : 0237-83-3100

### 2. 危険有害性の要約

#### 【GHS分類】

GHS分類に該当しない。(ただし粉末は可燃性等で該当)

#### 【危険有害性及び影響】

製品形状(固体)では危険有害性に関する知見(急性毒性・可燃性・爆発性等)は見当たらない。

ただし、製品の端面は皮膚を傷つける場合がある。

また、溶接・溶断・加熱・溶解等に伴うヒュームや、切削・研削によって生じる微粉により呼吸器や目に影響を及ぼす場合がある。

### 3. 組成、成分情報

【単一の化学物質・混合物の区分】 混合物

【化学物質等(製品)の化学特性】 安定した物質

#### 【主な成分】

成分	化学式	濃度範囲	C A S 番号	P R T R 法 (政令番号)
鉄	Fe	0~0.5%	7439-89-6	該当しない
酸素	O	0~0.4%	7782-44-7	該当しない
チタン	Ti	残	7440-32-6	該当しない

注1) 成分の含有量は、上表の範囲において規格の種類で異なる。

注2) 上記の主要成分の他に、炭素(C)、水素(H)、窒素(N)等の0.1%未満の微量元素を含む。

### 4. 応急措置

#### 【板端面による切傷】

傷口の消毒を行い、必要に応じて医師の診断、手当てを受けること。

#### 【ヒューム等による呼吸障害】

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息をとり、必要に応じて医師の診断、手当てを受けること。

#### 【ヒューム、微粉等の目への刺激】

水で数分間注意深く洗う。目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 【溶接・溶断等による火傷】

患部を冷やして必要に応じて医師の診断、手当てを受けること。

### 5. 火災時の措置

・製品形状(固体)では不燃性の状態であるが、微粉は急激な燃焼、爆発性を有する場合がある。

#### 【消火剤】

火災時には化学消火器や乾燥した砂・食塩(NaCl)にて燃焼箇所を覆うことが有効である。燃焼中のチタン材が周囲を閉ざされた環境にある場合、不活性ガス(アルゴン又はヘリウム)を充填する。

**【使ってはならない消火剤】**

- 炭酸ガス又は水を消火剤として使用してはならない。特に水は爆発の原因となる。
- ・完全に消火するまで長時間を要する場合があるので、再燃焼には十分注意を要する。

**6. 漏出時の措置**

- ・製品形状(固体)では安定しているため、漏出はしない。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

**【取扱い】**

溶接、溶断、切削及び研削などの作業で発生するヒュームや微粉等を吸いこまないこと。

製品の端面は皮膚を傷つける場合がある。

微粉は自然燃焼、爆発の原因となる。

**【保管】**

酸との接触や、高温多湿の環境を避けること。

**8. 暴露防止及び保護措置**

**【暴露防止】**

製品形状(固体)では安定しているため、該当する事項はない。

**【保護措置】**

溶接、溶断、研削、切削等の作業によりヒュームや微粉が発生する場合は、適切な換気対策を実施すること。

端面による切傷、ヒュームや微粉からの保護、重量物である事に起因する衝撃等を緩和するため保護具を着用。

**9. 物理的及び化学的性質**

**【物理的性質】**

形状 : 板状、帯状、管状、棒状、線状

色 : 銀白色

臭い : 無臭

融点 : 1600℃以上

密度 : 約4.51g/cm<sup>3</sup>

**10. 安定性及び反応性**

**【安定性】**

微粉は発火性があり、消火時には水をかけずに化学消火器や乾燥した砂・食塩(NaCl)をかけること。

**【危険有害な分解生成物】**

危険有害な分解生成物はないが、酸化性物質との接触による酸化反応で、酸欠や水素等の発生を招く事がある。

**11. 有害性情報**

- ・現在のところ知見は見当たらない。

**12. 環境影響情報**

- ・現在のところ知見は見当たらない。

**13. 廃棄上の注意**

- ・スクラップとしてリサイクル可能である。
- ・基本的には法的に許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。製品の一部分が梱包材等に付着している場合は、この点にも留意する。

#### 14. 輸送上の注意

- ・該当なし。

#### 15. 適用法令

- ・特になし。

#### 16. その他の情報

##### 引用文献：

- (1) 化学物質の危険・有害便覧、労働省安全衛生部監修(中央労働災害防止協会)
- (2) 産業中毒便覧、後藤 稔、池田 正之、原 一郎編(医歯薬出版)
- (3) International Chemical Safety Cards(問い合わせ：国立衛生試験場)
- (4) 化学大事典(共立出版)
- (5) 産業医学(日本産業衛生学会)
- (6) 許容濃度提案理由書集、日本産業衛生学会編(中央労働災害防止協会)
- (7) 神奈川県化学物質データベース(神奈川県環境技術センター)
- (8) 作業環境評価基準 別表(昭和 63 年労働省告示第 79 号)「管理濃度」
- (9) 日本産業衛生学会「許容濃度」
- (10) 米国産業衛生専門家会議「勧告値」(ACGIH TLV)

本安全データシートは、日本工業規格 Z7253：2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」(以下、「JIS」という)に準じて作成されており、用語の定義はJISに従っています。

本安全データシートは、安全な取扱いを確保するための参考情報とし、取扱う事業者提供されるものです。現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関していかなる保証をなすものではありません。取扱う事業者はこれを参考として、用途・用法に適した安全対策を必要に応じ実施の上御利用下さい。